

2. 事業の目的と概要	
(1) 事業概要	当事業はベトナム北部ハザン省とライチャウ省の3郡13コミューンにおいて貧困に苦しむ少数民族の若者の能力強化、収入増加を目指す。環境に配慮した農業、畜産業の技術をはじめ、販売ノウハウ、会計など生計向上に必要な知識を学ぶ機会を提供する。対象の半数以上を女性とすることで、これまで技術訓練を受ける機会がなかった女性の能力を強化し、女性の経済活動への参加を促進する。また、地元の生産物を使って起業を希望する若者に対して地域の経営者や専門家による技術訓練や経営指導を行い、事例を広く情報発信する。それによって農村の貧困地域に暮らす、若者たちに伝統的な農業や畜産業に限定しない新たな事業の可能性を提示する。さらに若者クラブの設立・運営や研修センターの建設・運営を通して、地域の若者が定期的に集い、協力し合って持続的に生計活動を活性化していく環境を整備する。農業・農村開発局や女性連合など省、郡、コミューンの各レベルで現地行政と連携し、若者の生計活動への理解や支援を強化する。 This project seeks to address the lack of livelihood opportunities and low income of the ethnic minority youths in 13 rural communes in Province of Ha Giang and Lai Chau, Vietnam. The project provides relevant trainings on agriculture, animal husbandry and entrepreneurship to equip youth with the skills and knowledge to help them increase income. More than half of the trainees will be female who have been suffering from gender stereotypes. Establishment and operation of youth clubs along with the construction and management of commune training centers provide local youths with better environment to learn together to activate the local economy with solidarity. All activities will be implemented with local government to ensure their continuous support to youths' income generating activities.
(2) 事業の必要性と背景	経済成長が著しいベトナムでは、都市部が発展を続ける一方で農村部は取り残され、格差は改善していない。対象の2省がある北部は都市部へのアクセスが困難であり、耕作地が限られているなど地理的な要因もあり、特に発展が遅れている。対象2省は同国内でも貧困率が高くライチャウ省は27.9%、ハザン省は20.8%で貧困率が全国1位と3位である¹。 北部の発展を妨げているのは、地理的要因に加え、少数民族人口が高いことも挙げられる。ベトナムの全人口の約86%をキン族が占める一方、対象の2省はモン族(Mong)、タイ族(Tay)、ザオ族(Dao)など²少数民族が56.2%を占めている³。当事業の対象13コミューンでは人口の95%以上が少数民族である。

¹ General Statistic Office of Viet Nam Poverty rate by province(2016)添付参照ください、
https://www.gso.gov.vn/default_en.aspx?tabid=783

² ETHNIC MINORITIES AND SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS: WHO WILL BE LEFT BEHIND?
 UNDP Vietnam, Table 1: EM population by province at 1st July, 2015, P83-92
<https://www.vn.undp.org/content/vietnam/en/home/library/poverty/ethnic-minorities-and-sustainable-development-goals--who-will-be.html>

³ THE VIET NAM POPULATION AND HOUSING CENSUS Table 6.(P32)
https://www.gso.gov.vn/Modules/Doc_Download.aspx?DocID=24503

少数民族の貧困率はモン族 65.9%、ザオ族 28.4%と主要民族であるキン族の 2.9%を大きく上回っており⁴、少数民族が国の経済発展から取り残されていることがわかる。 中等教育を修了すると多くの若者は、親が営む農業や畜産業に従事するが、生産性が低いうえに販売先が限定されているため収入は上がりず、貧困から脱却することが難しい。郡職業訓練センターが毎年数種類の職業訓練コースを実施しているが、従事する人口が多い農業や畜産業のコースは少なく、内容が地域の現状に則していない、実地のフォローアップ指導がないなど、コース内容は質の改善が必要な状況である。加えて、生産性や収入などを追跡調査していないため、訓練の成果が測られていない。 また、地域には農業銀行など貸付機関は存在するが、若者が生産性向上や事業拡大を目的に貸付を受けるには、地域政府による長く厳しい審査を通過しなければならない。資金を獲得するまであまりに長い時間がかかるため、申請者は少なく、申請しても多くが途中で諦めているのが実情である。このことは資金力のない若者が新しい技術を試したり、事業を始めたりするモチベーションを著しく低下させ、若者の生計活動の活性化を阻んでいる。 若者の生計活動支援が必要であることは、ベトナム政府の政策でも見ることができる。政府が 2015 年 7 月発令した法令 61 番第 4 章では若者の生計活動創出への支援がうたわれている。さらに 2009 年開始、2015 年改訂された国家政策「2020 年に向けた農村人口の職業訓練プロジェクト」では、農村部の 600 万人に経営管理技術訓練を提供することが目標とされている。 この政策による成果を持続させるためには、地域ですでにビジネスを行っている経営者の協力が欠かせないが、現在は行政と民間の協力は見られない。 女性、特に少数民族の女性は、根強く残る男性優位の慣習により教育や職業技術習得の機会が少なく、生産活動、経済活動への参加や決定権を与えられないことが多い⁵。そのため女性は経済的に自立することが難しく、その結果、早すぎる結婚や出産を強いられることとなっている。女性が持っている能力を活用、発揮できていないことは地域の開発や発展にとって大きな損失である。都市部が社会的、経済的に急速に変化発展し、農村部との格差は拡大している中で、地域におけるジェンダー平等促進への取り組みは急務である。

⁴ Multi Dimensional Poverty in Viet Nam, UNDP Viet Nam

Figure 1.1. 17. Income poverty rate by ethnic group (%), P36

<https://www.vn.undp.org/content/dam/vietnam/docs/Publications/MDP-full-E.pdf>

⁵ Gendered risks, poverty and vulnerability in Viet Nam: A case study of the National Targeted Programme for Poverty Reduction, Overseas Development Institute 2010, P11

<https://www.odi.org/sites/odi.org.uk/files/odi-assets/publications-opinion-files/6258.pdf>

	●「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連性 目標 1「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」(1. 1) 目標 5「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」(5. 1) 目標 8「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する」(8. 6) 以上の達成に貢献するものである。 <table border="1" data-bbox="336 416 1418 674"> <tr> <td>ジェンダー平等</td><td>環境援助</td><td>参加型開発／ 良い統治</td><td>貿易開発</td><td>母子保健</td><td>防災</td></tr> <tr> <td>1:重要目標</td><td>1:重要目標</td><td>1:重要目標</td><td>0:目標外</td><td>0:目標外</td><td>9:不明／未定</td></tr> <tr> <td>栄養</td><td>障害者</td><td>生物多様性</td><td>気候変動(緩和)</td><td>気候変動(適応)</td><td>砂漠化</td></tr> <tr> <td>0:目標外</td><td>0:目標外</td><td>0:目標外</td><td>0:目標外</td><td>1:重要目標</td><td>0:目標外</td></tr> </table> 参照 1 : https://one.oecd.org/document/DCD/DAC/STAT(2018)9/ADD2/FINAL/en/pdf (43 ページ～) 参照 2 (防災, 栄養, 障害者は以下を参照。) https://one.oecd.org/document/DCD/DAC/STAT(2018)52/en/pdf (6 ページ～) ●外務省の国別開発協力方針との関連性 当事業の目的は国別開発協力方針(2)脆弱性への対応、開発課題 2-2 に明記されている「地域間の格差を是正し、貧困層、障害者、高齢者等の社会的弱者に裨益する支援を行う」に合致する。急速な経済成長に伴う都市部と農村部の格差是正、貧困層である少数民族の貧困削減に取り組む。 ●「T I C A D VIおよびT I C A D 7における我が国取組」との関連性 該当なし。	ジェンダー平等	環境援助	参加型開発／ 良い統治	貿易開発	母子保健	防災	1:重要目標	1:重要目標	1:重要目標	0:目標外	0:目標外	9:不明／未定	栄養	障害者	生物多様性	気候変動(緩和)	気候変動(適応)	砂漠化	0:目標外	0:目標外	0:目標外	0:目標外	1:重要目標	0:目標外
ジェンダー平等	環境援助	参加型開発／ 良い統治	貿易開発	母子保健	防災																				
1:重要目標	1:重要目標	1:重要目標	0:目標外	0:目標外	9:不明／未定																				
栄養	障害者	生物多様性	気候変動(緩和)	気候変動(適応)	砂漠化																				
0:目標外	0:目標外	0:目標外	0:目標外	1:重要目標	0:目標外																				
(3) 上位目標	ハザン省、ライチャウ省に暮らす少数民族の若者が地元で技術や知識を身につけて、伝統的な方法に限らない収入向上の道を切り開いていけるようになる。																								
(4) プロジェクト目標 (今期事業達成目標)	ハザン省、ライチャウ省の対象地域に暮らす少数民族の若者が収入を向上させていくための環境が整備され、若者が収入を増加させる ハザン省、ライチャウ省の対象地域で少数民族の若者が職業訓練を受けられる施設が整備され、若者が農業や畜産業に関する知識や技術を向上させる。																								
(5) 活動内容	ハザン省およびライチャウ省の 13 のコミューンにおいて以下の活動を行う。 <u>1. 若者の生計向上能力強化</u> 1. 1. 生計向上トレーニング(1～3年次) 対象地域で行われている主要な生産活動を農業(米、バナナ、お茶など)、畜産業(養鶏、養豚など)のふたつのコースに分けて技術トレーニングを提供し、対象となる若者の収入向上を支援する。トレーニングは郡農業技術サービスセンター職員が各コミューンに出向いて実施する。 1. 1. 1. トレーニングマニュアルの開発(1年次)																								

各郡農業サービスセンターや外部コンサルタントと協力して、当事業の対象者向けのトレーニングマニュアルをコースごとに開発する。各地域行政で使用されているトレーニング・モジュールを参考に、トレーニングの内容や期間を決め、必要な教材を作成する。トレーニングマニュアルは、1年次から利用し、都度改良する。

1. 1. 2 農業および畜産技術トレーニング(1～3年次)

各コミュニティにおいて農業と畜産業それぞれのコースでトレーニングを行う。研修生は各コミュニティの人民委員会や女性連合の協力を得て広く募集し、受講生を特定する。受講資格は、年齢 15～30 歳で学校に通っていない若者でトレーニングを修了する意思のある者とする。希望者多数の場合は世帯収入が少ない、障がいを持つ家族がいる、などより困難な環境にある若者を選定する。当団体が設定する受講資格を満たす受講生を特定する。

トレーニングは、3日間の座学とその後4～6か月間にわたって実際の畑や家畜を使って行う実践指導で構成し、講師は郡農業技術サービスセンター職員が担当する。

13のコミュニティそれぞれ農業、畜産業の2コース各40人の受講生を募り、2クラス(各クラス20人)に分けて実施する。より教育の機会に恵まれない女性の参加を確実にするため、受講生の50%以上は女性とする。各年1,040人がトレーニングを受講する。

1. 1. 3. まとめワークショップ(1～3年次)

トレーニングの終了後には毎年、各コミュニティ内で2クラスの受講生がコースごとに学びや経験を共有し、自分の畑や家畜小屋を案内して成功例、失敗例を紹介するワークショップ(1日)を開催する。

実施に当たる団体とその役割

団体	役割
当団体	・受講生の特定 ・トレーニングマニュアルの開発 ・トレーニング、まとめワークショップの実施・監理
プラン・インターナショナル・ベトナム	・当団体の役割全般をサポート
人民委員会、女性連合	・受講生の特定
外部コンサルタント	・トレーニングマニュアルの開発
郡農業サービスセンター	・トレーニング、まとめワークショップの実施

1. 2. 経営スキルトレーニング(1～3年次)

収入を増加させるためには、1. 1. 生計向上トレーニングで行う技術的指導による生産性の向上だけではなく、生産物の販売方法の改善や販路の拡大、会計管理など基本的な経営知識が必要である。

当事業では、トレーニングマニュアルと教材を開発し、1. 1. 生計向上トレーニングの受講者を対象に以下のトレーニングを実施する。

1. 2. 1. 会計知識トレーニング(3日間)

毎月の収入支出を記録し、家計を管理するために必要な会計知識を身に付ける。また、地域の農業銀行や村の共済システムへの貸付申請の方法や貸し付けを受けた場合の返済計画作成の指導も行う。

生計向上トレーニングの全受講者(各年1,040人)を対象とする。

1. 2. 2. マーケティング知識トレーニング(2日間)

市場の動向分析をはじめ生産物の販路を拡大したり、より多く販売できるノウハウを学ぶ。

生計向上トレーニングの全受講者(各年1,040人)を対象とする。

1. 2. 3. 環境保護知識トレーニング(2日間)

地域の自然環境を破壊することなく生産性を高め、世帯収入を向上できるよう、環境に配慮した生産活動のノウハウを学ぶ。

生計向上トレーニングの全受講者(各年1,040人)を対象とする。

1. 2. 4. コンピュータ・スキルトレーニング(4日間)

コンピュータを活用することでより効率的に生産活動ができるよう、簡単な文書作成、表計算、インターネットを駆使した情報収集や情報発信などを学ぶ。このトレーニングのみ対象は、1. 1. 生計向上トレーニングの受講生のうち希望者のみ、各年260人(全体の25%)とする。

両活動地域では気温が約40度まで上昇することがある。その中で受講生が集中して学ぶことができるように飲料水を提供する。また半日以上にわたるトレーニングでは受講生が昼食のために帰宅しなくて済むように食事を提供する。さらにトレーニングを円滑に進めるため受講生には最低限必要な筆記用具を配布する。

実施に当たる団体とその役割

団体	役割
当団体	・受講生の特定 ・トレーニングマニュアル・教材の開発 ・トレーニングの実施・監理
プラン・インターナショナル・ベトナム	・当団体の役割全般をサポート
外部講師(各コース)	・トレーニングマニュアル・教材の開発 ・トレーニングの実施

1. 3. 若者の起業支援(1～3年次)

1. 1. の生計向上トレーニングで生産性を高めた作物、あるいは地域で栽培されている他の作物を加工、商品化して販売する新しいビジネスモデル開発を支援する。この事例をユースクラブでの集会、各種トレーニング、ワークショップの機会やニュースレターを使って広く発信することで、若者による生計活動へ官民からの支援が強化され、地域の若者に対して将来の選択肢として提示されることが期待される。

1. 3. 1. 市場調査および経営指導を行う商品の特定(1年次)

外部コンサルタントを起用して、各地域で需要が高く、小規模の投入で起業が可能な加工食品を各郡2種類ずつ特定する。

1. 3. 2. トレーニング・モジュールの開発(1年次)

上記で特定した食品加工業の開始に必要な基本的な経営管理トレーニングのモジ

ルール、教材を開発する。

1. 3. 3. 経営管理トレーニングの実施(2～3年次)

1. 3. 1. で特定した食品加工で起業することを希望する若者を13の対象コミュニティから合計20人(2年次10人、3年次10人)募集する。より教育の機会に恵まれない女性の参加を確実にするため、受講生の50%以上は女性とする。トレーニングは外部講師による講義を2・3年次に各3日間行い、参加者は起業に必要な基本的な知識を身に付ける。

1. 3. 4. 食品加工トレーニングの実施(2～3年次)

上記のトレーニングを修了した受講生を対象にそれぞれが希望する食品加工製造の技術トレーニングを行う。地域ですでに同様の食品加工業を営む経営者が講師となり、製造や販売促進のノウハウを受講生の自宅を訪問して定期的に教示する。さらに、起業して経営を続けるために必要となる事業許可や貸付の申請に関する指導も行う。

関係団体の役割

団体	役割
当団体	・受講生の特定 ・トレーニングモジュールの開発 ・トレーニングの実施・監理
プラン・インターナショナル・ベトナム	・当団体の役割全般をサポート
人民委員会、女性連合	・受講生の特定
外部コンサルタント	・市場調査 ・トレーニングモジュールの開発
外部講師、地元の経営者	・経営管理トレーニングの実施 ・食品加工トレーニングの実施

2. 女性の経済活動への参加促進

女性が経済活動に参加しやすくなるよう、対象地域の若者、行政機関職員および若者の親世代に対してジェンダー平等を促進する活動を行う。

2. 1. トレーニングマニュアルの開発(1年次)

外部コンサルタントと連携して、地域の文化や慣習に合わせたジェンダートレーニングのマニュアルを作成する。

2. 2. 若者対象のジェンダートレーニングの実施(1～3年次)

1. のトレーニング受講者を対象に、ジェンダートレーニングを行う。また、3. 2のユースクラブ活動の一環として、3か月に一度、ジェンダーをテーマにミーティングを開催する。

2. 3 住民や行政職員対象のジェンダー啓発活動(1～3年次)

地域住民に、いまだ残る男性優位の慣習や女性の能力が活かされていない現実について話し合う機会を提供し、女子教育や女性の社会・経済活動参加への理解を深める。各コミュニティで年1回、公開対話会を行う。

また、女性が主導する生計活動の事例を紹介して女性の経済活動への参加促進を啓発するコミュニティイベントを各コミュニティで年3回開催する。

3. 若者の収入向上を支援する環境整備

若者が自ら積極的に生産性を高める活動に参加したり、新たな業態での起業に挑戦したりできるように、地域の支援体制を整備する。

3. 1. 研修センターの建設および備品支給(1～3年次)

当事業の対象コミュニティには、若者が農業や畜産の技術指導を受けたり、技術を高めるための情報を得られる場所がない。当事業で実施する農業・畜産技術指導をより効果的に行うために、各コミュニティに研修センターを建設する。

生計活動に励む若者が技術指導を受けるほか、生産性の向上や販路開拓、販売力の強化をはじめとする情報の収集や若者同士の情報交換のために集まる場所となる。

3. 1. 1. 研修センターの建設(1～3年次)

対象13コミュニティに1箇所ずつ建設する研修センターは、ベトナムの建築基準に則した設計とし、各郡の人民委員会の承認を得る。建設は各郡の建設業者に発注し、専門技術のいらない整地、資材運搬、進捗確認などの作業には、若者をはじめとした地域住民の協力を得る。工事の進捗や施工の質は、当団体の現地事業責任者、各地域のプロジェクトオフィサー、技術スタッフが定期的に現場をモニタリングして、必要に応じて技術指導を行う。

3. 1. 2. 備品の支給(1～3年次)

安全で地域の若者が豊富な情報を得られる研修センターとするため、各研修センターには机、いすなどを支給する他、インターネット環境、コンピュータ、農業や畜産に関する技術書や起業に役立つ参考書を備える図書コーナーなどを整備する。

3. 1. 3. 維持管理トレーニングの実施(1～3年次)

完成した研修センターは各コミュニティに移譲する。確実に維持管理が行われるよう、完成前にはコミュニティ代表と地域住民を対象に維持管理トレーニングを実施する。

1年次の建設予定地は、以下の3箇所。

1. ハザン省ホアンスフィ郡チエンホーコミュニティ
2. ハザン省シンマン郡ナムザンコミュニティ
3. ライチャウ省フォントー郡バンランコミュニティ

残る10コミュニティの研修センター建設は1年次に順番を決め、2年次に7箇所、3年次に3箇所建設する。

3. 2. ユースクラブの設立および運営(1～3年次)

対象13コミュニティの各コミュニティにユースクラブを設立する。農業、畜産業と業種別に若者が集まり、生計活動について情報共有したり、コミュニティをよりよい地域にしていけるために若者が協力し合う環境を作り、クラブ運営を支援する。

3. 2. 1. 設立および代表対象運営トレーニングの実施(1～3年次)

1. 1. 生計向上トレーニング(座学)後に、受講者から希望者を募り、各クラブの代表に

対してクラブ運営をトレーニングする。男性に比べて職業訓練やその他社会活動に参加する機会に恵まれない女性の参加を確実にするため、代表の半数以上を女性とする。講師は当団体とコミュニンの女性連合、若者連合が務め、各郡で2日間行う。

3. 2. 2. クラブ集会の開催および運営サポート(1～3年次)

クラブは設立以降、3か月に一度集会を持ち、情報交換やジェンダーなどテーマを設定して意見交換を行うなど、若者が中心となっていく地域の経済活動の活性化やジェンダー平等促進のため継続的に活動する。クラブ運営は基本的に若者主体であるが、各コミュニンの女性連合や若者連合が協力する。

3. 2. 3. 学び合いのためのコミュニン間視察訪問(1～3年次)

各ユースクラブから10人に郡内の他のコミュニンの若者による生計活動の取り組みを見学する機会を提供する。各コミュニンから5人の地方政府職員が同行し、地方職員も近隣コミュニンでの政府の支援方法を視察し、情報交換する。

3. 3. 地域行政や経営者による若者への支援強化(2～3年次)

若者が生計活動を活性化したり、起業したりしやすくするため、地域の官民両方から支援を得られるようにする。地方行政には主に、若者に提供する職業訓練の充実や、起業を希望する若者への小規模融資申請のサポートが求められる。また経営者には、起業のノウハウや経験を若者に指導したり、事業連携への理解、協力を求める。

3. 3. 1. 行政との対話フォーラムの開催(3年次)

若者の声を直接、地域行政に届け、若者の生計向上支援につなげるため、省、郡、コミュニンレベルの政府職員が参加するパブリックフォーラム(2日間)を対象各省の中心市で開催する。各コミュニンのユースクラブから代表を派遣し、各地での取り組みを紹介し、政府への提言を行う。そこでの対話や提言が地方行政計画に取り込まれることが期待される。

3. 3. 2. 地方政府職員による省間視察訪問(3年次)

ハザン、ライチャウ両省の省、郡、コミュニンの各レベルの政府職員が、互いの省を訪問して若者主導による生計向上のための取り組みや地域の支援状況を視察し、学び合う機会を提供する。

3. 3. 3. 官民パートナーシップワークショップの開催(2～3年次)

対象各省で地域政府職員や地域の事業主が集まる場を年1回企画し、当事業で生計向上に取り組む若者とその事業を紹介、政府からの支援強化や事業主との連携やネットワークが作られるよう支援する。特に地域の経営者に対しては、経営に関する知識や経験を使って経営管理トレーニングや起業指導の一部を担ってもらえる人材を募る。

3. 4. 若者による生計活動例の情報発信

3. 4. 1. ニュースレターの発行(2～3年次)

各地のユースクラブメンバーの協力のもと、対象地域での若者による生計活動をまとめ、年2回ニュースレターとして発行する。ニュースレターは印刷物とデジタル版両方を準備し、広く発信する。

	3. 4. 2. 若者主導の事業例の動画制作(3年次) 成功事例や官民連携を紹介する動画を制作し、地方行政や地域の経営者と共有することで、若者の生計活動の支援を促進する。 上記のトレーニングや対話フォーラムなどのイベントは、各日半日以上におよぶため参加者には昼食を提供する。参加者が継続して出席し、集中して研修やイベントに参加できるように昼食の提供は必要である。 また、新型コロナウイルス感染防止のためトレーニングの受講生には洗濯して繰り返し使用できるマスクを配布し、以降参加するすべてのトレーニングや集会でのマスク着用を求める。住民を巻き込むイベントでは参加者に事前にマスクの着用を要請する。トレーニングや啓発イベントの会場には殺菌ジェルとマスクを持ってこなかった受講者・参加者のための予備のマスクを常備し、感染予防対策を徹底する。 活動地域は町から離れた山間の農村部にあり、起伏の多い地域である。地域にはバスや乗り合いタクシーなどの交通手段がないためスタッフの移動にはモーターバイクを利用する。														
	直接裨益者 <table border="1"> <tr> <td>対象地域の若者（半数が女性）</td><td>3,140</td></tr> <tr> <td>郡農業技術サービスセンター職員（各郡 15）</td><td>45</td></tr> <tr> <td>コミューンの住民（各コミューン 30）</td><td>390</td></tr> <tr> <td>コミューン人民委員会メンバー（各コミューン 5）</td><td>65</td></tr> <tr> <td>郡人民委員会メンバー（各郡 12）</td><td>36</td></tr> <tr> <td>省人民委員会メンバー（各省 15）</td><td>30</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>3,706</td></tr> </table> 間接裨益者 対象コミューンの若者 約 9,600 人 対象コミューン全人口 約 60,000 人(上記の若者含む)	対象地域の若者（半数が女性）	3,140	郡農業技術サービスセンター職員（各郡 15）	45	コミューンの住民（各コミューン 30）	390	コミューン人民委員会メンバー（各コミューン 5）	65	郡人民委員会メンバー（各郡 12）	36	省人民委員会メンバー（各省 15）	30	合 計	3,706
対象地域の若者（半数が女性）	3,140														
郡農業技術サービスセンター職員（各郡 15）	45														
コミューンの住民（各コミューン 30）	390														
コミューン人民委員会メンバー（各コミューン 5）	65														
郡人民委員会メンバー（各郡 12）	36														
省人民委員会メンバー（各省 15）	30														
合 計	3,706														
(6) 期待される成果と成果を測る指標	1. 若者の生計向上能力強化 - 事後テストで正解率 80%を獲得するトレーニング受講者（目標 80%／各年） - トレーニング受講者のうちトレーニングで習得した知識や技術を使って 1 年以内に収入を 10%以上増加させた若者（目標 70%／2、3 年次） <確認方法> - トレーニングの事後テストの結果 - トレーニング後に行うモニタリング、追跡調査 - 事業終了時評価 2. 女性の経済活動への参加促進														

	・ 世帯経済の管理に参加するようになった女性の増加率(目標20%/各年) <確認方法> ・ トレーニング受講者リスト ・ ユースクラブ定期集会での調査 ・ コミュニイベント後の聞き取り調査 3. 若者の収入向上を支援する環境整備 ・ 地方行政計画に取り入れられる若者からの提案の数(目標各省1件/3年次) ・ 若者の生計活動支援に協力する地方行政および経営者の数(目標5人/2、3年次) <確認方法> ・ 地方行政計画 ・ 若者の生計活動モニタリング調査 ・ 事業終了時評価
(7) 持続発展性	当事業の成果を維持していくために以下を計画している。 若者の生計向上能力強化 トレーニング受講者はコミュニンの集まりや SNS を使ってコミュニン内外へ広く発信する技術や知識、成功例は、多くの若者に届き、それが彼ら自身の生計活動改善や収入増加の一助となる。また、当事業で地方行政と連携して作成する各種トレーニングマニュアルやガイドラインは、地方行政機関が実施する職業訓練にも取り入れることを推奨し、より多くの若者の能力向上に寄与する。郡農業技術サービスセンターの職員は当事業で学んだトレーニングノウハウを、事業終了後は、地域行政が行う職業訓練に活かし、地域で実施する職業訓練の質を上げていくことが期待される。 建設した建物の維持・管理方法 当事業で建設するコミュニン研修センターは、完成後、各コミュニンに譲渡する。譲渡する際には適切な維持管理が行われるようにトレーニングを実施するとともにコミュニンの維持管理責任を明記した引渡書を取り交わす。コミュニンは引き渡し後、維持管理にかかるコストを自ら負担するよう予算を確保している。研修センターは各コミュニンの若者をはじめとした住民が情報収集やミーティングのために活用する。コミュニンリーダーやユースクラブメンバーが自ら豊富な経験や知識を持つ地元の人材を講師として動員し、研修を行うこともある。 地域行政や経営者による若者への支援強化 事業の終了後、地元行政による若者主導の経済活動への支援が継続するよう、当事業は主に郡、コミュニンレベルの行政機関と連携して実施する。対象となる若者だけでなく、郡農業技術サービスセンターや女性連合、若者連合の職員を講師や指導員として巻き込むことで、その能力を強化する。これにより指導能力の向上だけでなく、若者、特に女性の生計活動への理解を深め、より有効で効率的な技術的、経済的支援が継続して行われるようにする。 当事業でスタッフが使用するモーターバイク、ラップトップコンピュータ、デジタルカメラなどのアイテムは当事業終了時に現地行政に譲渡するものとする。

--	--

(ページ番号標記の上, ここでページを区切ってください)